

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度 昭和60年度頃～			
総合計画	大項目	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	01 生活しやすいまちづくり
	小項目	施策	09 上水道及び簡易水道
事務事業名			05 簡易給水施設管理運営事業
根拠法令・規程等			備前市簡易給水施設設置及び給水に関する条例
問 担当課(室)			水道課
合 職・氏名			施設係長 吉橋 満
先 電 話			0869-66-9793

事業の実施	
対 象 (誰・何に対して)	吉永町内の簡易給水施設利用者(八塔寺、榎、和意谷、大藤上、大藤下、牛中地区)
目 的 (何のために)	対象地域の飲料水の衛生的かつ安定的供給を効率よく行う。
行 政 活 動 (どのような方法で)	定期的な水質検査及び施設の点検と、異常時の速やかな対応。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	安全安心な飲料水の安定供給を最小限の経費で行う。

事業の実績				
実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
給水人口	人	124	127	131
年間総有収水量	晰	11,346	11,935	10,973
料金収入	千円	1,986	2,011	1,966
水質検査回数	回	12	12	6
修繕、維持工事等	件	8	8	6
事業費				
直接事業費	千円	9,386	5,514	6,104
必要人員人件費		0.34人	0.14人	0.51人
事業費計		12,277	6,796	10,666
財源				
国 県 支 出 金				
受 益 者 負 担 金		1,988	2,012	1,977
市 債				
そ の 他 ()				
一 般 財 源		10,289	4,784	8,689
受 益 者 負 担 比 率	%	16.2%	29.6%	18.5%

結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
結果指標①				
給水人口1人当り単価	説明	事業費/給水人口		
結 果 指 標 量		124	127	131
対 前 年 比	%	-	102.4%	103.1%
活 動 コ ス ト	円	12,277,000	6,796,000	10,666,000
単 位 当 たり コ ス ト		99,008	53,512	81,420
結果指標②				
供給単価	説明	料金収入/年間総有収水量		
結 果 指 標 量	晰	11,346	11,935	10,973
対 前 年 比	%	-	105.2%	91.9%
活 動 コ ス ト	円	1,986,000	2,011,000	1,966,000
単 位 当 たり コ ス ト		175	168	179

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
事業費に対する料金収入の割合	目標値(A)	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%
	実績値(B)	16.2%	29.6%	18.4%	到達目標年度
	達成率(B/A)	80.9%	148.0%	92.2%	

成果指標設定の考え方・式や説明
 水質、供給量を維持しつつ、供給コストの縮減を図る。 料金収入/総事業費

事業の目的、対象、内容を考えてから目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	妥当性評価<A~E> A 判定理由・課題認識 安全な飲料水の供給は、地域住民の生活と健康に直結するもので、欠かすことのできないものである。
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input type="checkbox"/> 説明	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E> B 判定理由・課題認識 水質、給水量を確保しながらコスト縮減に努めているが、施設の老朽等に伴う修繕、更新等については相応の経費が必要となる。
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価<A~E> A 判定理由・課題認識 地域住民にとっては最も重要な施設であり事業であるため、コスト縮減等の課題はあるものの必要な事業である。
有効性の評価	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	

平成21年度の状況						
目標値	結果指標量①	131	結果指標量②	10,973	成果指標量	20.0%
状況	拡充		現状継続	○	縮小	
	見直し				整理統合	
説明	休止		廃止・完了			
	前年と同様、コスト縮減に配慮しながら、安心して安全な飲料水の安定供給に努めている。					

総合評価		評価区分<A~E>
安全な飲料水の供給は、地域住民の生活と健康に欠かすことのできないものであり、コスト縮減に努めながら、今後とも継続必要がある。		A

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	現在の給水エリアを確保しながら、近接施設等を統合することにより管理経費の縮減を図る。					
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果		
効率性	施設の統廃合		平成24年度以降	管理経費縮減		